

令和6年司法試験合格体験記

令和6年度在学中受験（既修コース）岩崎 文佳

この度、令和6年度司法試験に合格しました。既修20期の岩崎文佳と申します。

私は、岡山大学法学部から岡山大学大学院法務研究科に進学しました。入学後から司法試験受験までの1年半はあっという間で、思うように勉強できなかった時期もありました。そのような中で、在学中受験で司法試験に合格することができたのは、周囲の支えがあったからにほかなりません。まず、この場をお借りして、司法試験合格まで支えてくださった先生方、資料室の方、事務の方、友人、両親に感謝申し上げます。

日常的な勉強方法については、他の合格者の方が書いてくださっていると思うので、私は直前期の体験談に絞って書こうと思います。私自身は、準備不足のまま、司法試験を受験することが怖くなってしまい、試験1か月前頃、勉強が手につかなくなった時期がありました。ただ、どんなに準備不足でも、今の自分ができることをするほかありません。私はそう思えたときに、司法試験を受験する覚悟ができました。

私がこの体験談から伝えたいことは、2つあります。第1に、直前期こそ、自分のペースで勉強してほしいということです。直前期は、どんな受験生であれ、不安や焦りを感じやすい時期だと思います。周りと比べて、つい焦ってしまうこともあるとは思いますが、他人と自分の進むスピードが違うとしても、司法試験合格という目標に向かって進んでいることは確かです。直前期も、自分に合ったペースで勉強していただければ十分だと思います。

第2に、直前期の勉強に限って言えば、ある程度切り捨てて勉強しても構わないということです。なぜなら、直前期に新しい問題を見ると、自分の知識量に不安を感じて、余計な焦りにつながるからです。たとえば、直前期の時点で解き切れていない過去問についてはあえて取り組まずに、今までの復習に時間を回す方が良いと思います。

この体験談が、来年度以降受験される方の参考になれば幸いです。応援しています。